



Vision、Events、および Administration クライアントのインストール

クライアントをインストール/起動するには2つの方法があります。

クライアントのインストール方法	説明
Java Web Start テクノロジー	ブラウザに URL を入力することによって、ゲートウェイからクライアントを起動します。手動インストールの必要は一切なく、クライアントのアップグレードは完全に自動化されます。
インストール実行可能ファイル	DVD の実行可能ファイルまたはゲートウェイサーバを使用して手動でクライアントをインストールします。

この章では、次のトピックを取り上げます。

- [\[Web Start\] ページからクライアントを起動する \(8-2 ページ\)](#)
- [コンピュータに Prime Network クライアントをインストールする \(8-4 ページ\)](#)
- [クライアントのトラブルシューティング \(8-7 ページ\)](#)



(注)

この章で説明するクライアントのインストール方法は、Prime Network をスタンドアロン製品としてインストールする場合にのみ関係します。Prime Network をスイートの一部としてインストールする場合は、『[Cisco Prime Central Quick Start Guide](#)』の「Configuring the Prime Network, Prime Optical, and Prime Fulfillment Servers as Suite Components」を参照してください。

[Web Start] ページからクライアントを起動する

Prime Network のすべての GUI クライアントには、ゲートウェイ上の [Web Start] ページからアクセスできるようになっています。ここからアクセスすることにより、すべての GUI クライアントにシングルサインオン (SSO) が適用されます。クレデンシャルを入力した後は、どの GUI クライアントにもアクセスできます。

はじめる前に

次の点を確認します。

- クライアントの要件がすべて満たされていること。要件の詳細については、[Prime Network クライアントの要件 \(2-11 ページ\)](#) を参照してください。
- お使いのコンピュータに Java 8 アップデート 60 がインストールされていること。インストールされていない場合は、Java のダウンロード サイト (<http://www.java.com>) からダウンロードしてください。



(注) Prime Network は Java 8 アップデート 60 でテストされていますが、これ以前の Java 8 アップデートでも機能するはずですが。

- ポート 6080 および 6081 が開いていること。Prime Network に必要な他のポートについては、[Prime Network に必要なポート \(2-23 ページ\)](#) を参照してください。

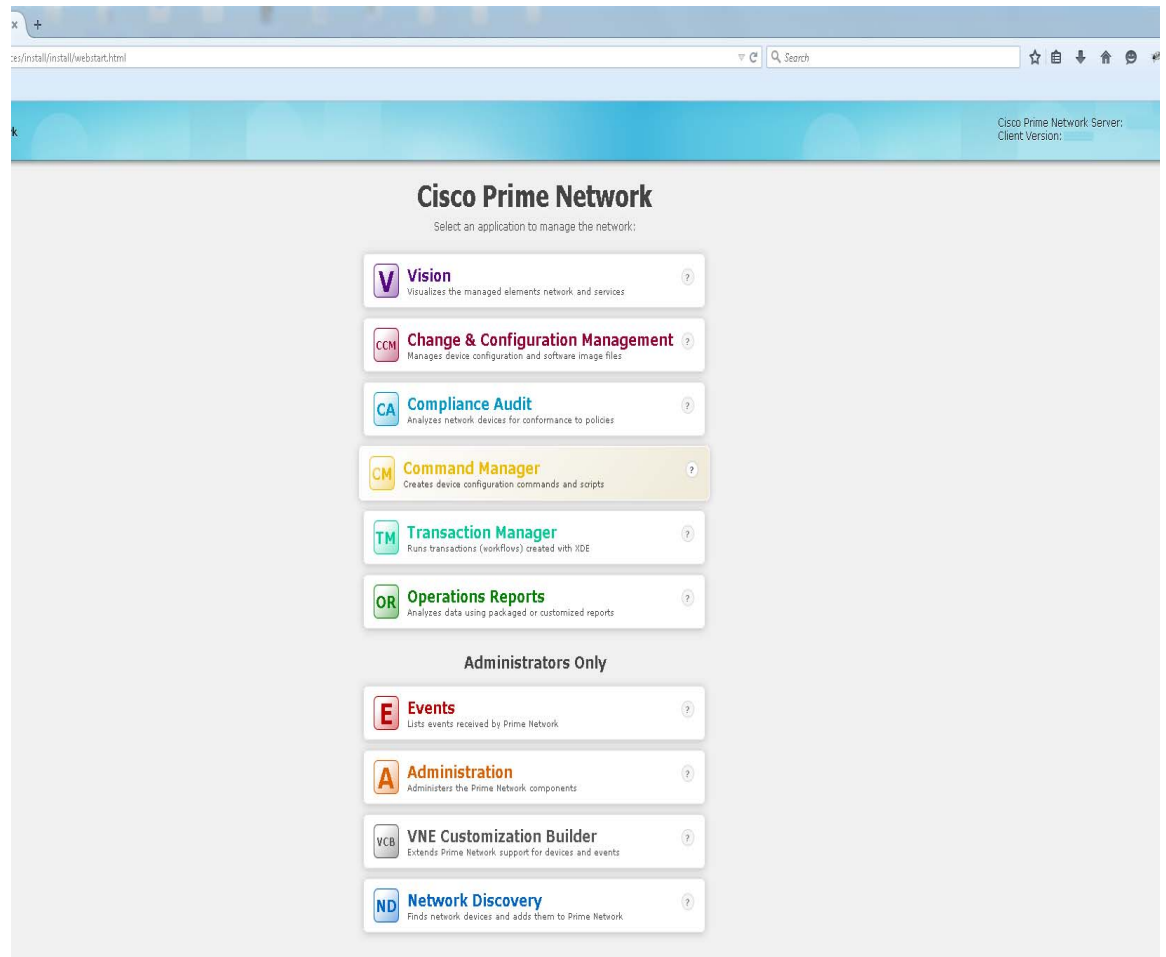
Java Web Start テクノロジーを使用してクライアントにアクセスするには、次の手順に従います。

手順 1 次の URL を入力してゲートウェイにログインします。

`http://gateway-host-ip:6080/ana/services/install/install/webstart.html`

ここで、*gateway-host-IP* はゲートウェイのホスト名または IP アドレスです。

Prime Network アプリケーションの起動ページが表示され、ここからすべての Prime Network GUI クライアントにアクセスできます。

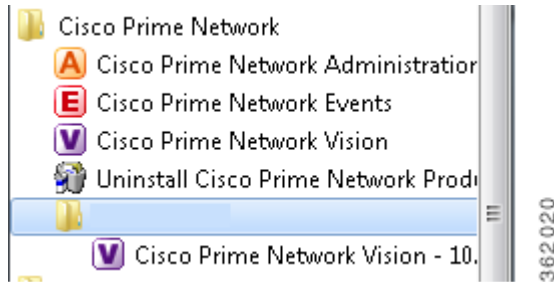


- 手順 2 Prime Network のログイン ウィンドウにユーザ名とパスワードを入力してから、[Login] をクリックします。
- 手順 3 アクセスする Prime Network アプリケーションをクリックします。jnlp ファイルがダウンロードされます。
- 手順 4 セキュリティ警告画面で [Continue] をクリックします。クライアント アプリケーションの jar ファイルがダウンロードされて、Prime Network アプリケーションが起動します。
- 手順 5 ゲートウェイのユーザ名とパスワードを入力してから、[OK] をクリックします。



(注) 別のゲートウェイからクライアントを起動するには、そのゲートウェイから上記の手順を繰り返します。

最初の Java Web Start アプリケーションが起動すると、[Start] メニューのゲートウェイ IP アドレスまたはホスト名の下にショートカットメニューが追加されます。以降は、このショートカットメニューを使用してアプリケーションを起動できます。



コンピュータに Prime Network クライアントをインストールする

ここでは、インストール方法として DVD を使用する場合、またはゲートウェイ サーバからクライアント実行可能ファイルをダウンロードする場合の Prime Network クライアントのインストール手順を説明します。

はじめる前に

次の点を確認します。

- クライアントの要件がすべて満たされていること。要件の詳細については、[Prime Network クライアントの要件\(2-11 ページ\)](#)を参照してください。
- **Disk 2: Client, Integration Layer, and Documentation** が手元にあること。(インストール DVD(1-2 ページ)を参照)。
- ゲートウェイとインストール先クライアントワークステーションの間で IP 接続を使用できること。
- ポート 6080 および 6081 が開いていること。Prime Network に必要な他のポートについては、[Prime Network に必要なポート\(2-23 ページ\)](#)を参照してください。
- 古くなったクライアントファイルがないこと。

クライアントインストールウィザードが、クライアントインストールプロセスをステップバイステップで案内します。

手順 1 次のいずれかの方法で、クライアントのインストールを開始します。

- DVD ドライブに **Disk 2: Client, Integration Layer, and Documentation** を挿入します。クライアントインストールウィザードが自動的に起動し、[Welcome] ウィンドウが表示されます。クライアントインストールウィザードが自動的に起動しない場合は、DVD ディレクトリを参照して、クライアント実行可能ファイル(32 ビットシステムの場合は CiscoPrimeNetwork.exe、64 ビットシステムの場合は CiscoPrimeNetwork_64bit.exe)を起動します。
- Web ブラウザを開き、次の URL を使用してゲートウェイからクライアントインストール実行可能ファイルをダウンロードします。
<http://gateway-IP-address:6080/ana/services/install/install/index.html>

ここで、*gateway-IP-address* はゲートウェイの IP アドレスです。システムのベストエフォートにより、使用されているオペレーティング システムが 32 ビットまたは 64 ビットのどちらであるかが検出され、推奨されるダウンロードが表示されます。該当するリンクをクリックして exe ファイルをダウンロードします。Vision、Events、および Administration クライアントもダウンロードできます。

- ダウンロードが完了したら、ダウンロードしたファイルを起動します。クライアント インストール ウィザードが起動し、[Welcome] ウィンドウが表示されます。

手順 2 [Next] をクリックします。[Destination Location] ウィンドウが表示されます。デフォルトのインストール先を使用しない場合は [Browse] をクリックしてインストール ディレクトリを変更してから [Next] をクリックします。



(注) デフォルトのインストール先は、C:\Cisco Systems\Prime Network\ です。Windows 7 にインストールする場合は、[Program Files] フォルダに Prime Network クライアントをインストールしないでください。このフォルダにインストールすると、Windows 管理者以外はクライアントを実行できなくなります。

- 手順 3 [Select Components] ウィンドウで、インストールするクライアント (Vision、Events、または Administration、あるいはこのうちの複数) を選択してから [Next] をクリックします。
- 手順 4 デフォルトのプログラム マネージャ グループを変更する場合は、必要に応じて変更してから [Next] をクリックします。



(注) デフォルトのプログラム マネージャ グループは、Cisco Prime Network です。既存のすべてのアイコンが Cisco Prime Network で上書きされます。複数のクライアントをインストールする場合は、プログラム マネージャ グループにバージョン番号を追加してください (Prime Network 4.3.2 など)。

- 手順 5 [Next] をクリックしてインストールを開始します。
- 手順 6 インストールの完了時に表示される最終インストール ウィンドウで、必要に応じてオプションを選択します。
- [Create “Quick Launch” icons]: [Quick Launch] ツールバーに、Prime Network Vision と Cisco Prime Network Administration のクイック起動アイコンが作成されます。
 - [Launch Cisco Prime Network Vision]: 直ちに Prime Network Vision が起動されます。
- 手順 7 [Finish] をクリックします。

リモートのパーソナルコンピュータに Prime Network クライアントをインストールする

ここでは、リモートのパーソナルコンピュータ (PC) に Prime Network クライアントをインストールする手順を説明します。

はじめる前に

- 次のシステム要件が満たされていることを確認してください。
 - オペレーティング システム: Windows 10
 - メモリ (RAM): 8 GB
 - プロセッサ: Intel Core i5 CPU @ 2.30GHz

- 手順 1 2 台の Windows 10 マシン (ローカル マシンとリモート マシン) をネットワークに接続します。



(注) ローカル マシンには Prime Network GUI クライアントをインストールしないでください。

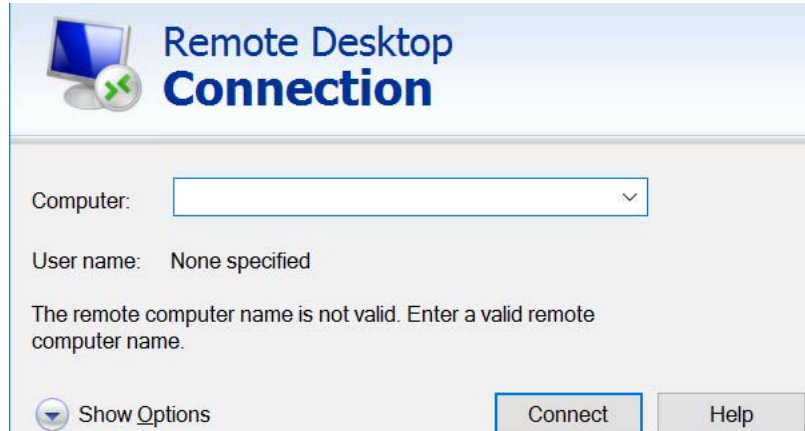
- 手順 2 リモート マシンに Prime Network GUI クライアント (Administration、Vision、Events など) をインストールします。リモート マシンの IP アドレスをメモします。

- 手順 3 クライアントで、Remote Desktop Connection アプリケーションを開きます。



(注) [Search] をクリックして Windows 10 の Remote Desktop Connection を検索すると、検索結果としてこのアプリケーションが表示されます。その検索結果をクリックすると、Windows 10 でアプリケーションが開きます。

図 8-1 Remote Desktop Connection



- 手順 4 [Computer] フィールドにリモート マシンの IP アドレスを入力し、[Connect] をクリックします。
- 手順 5 リモート マシンのクレデンシャルを入力するよう求められます。正しいクレデンシャルを入力した後は、ローカル マシンからリモート マシンにアクセスできるようになります。
- 手順 6 リモート マシンにアクセスしたら、Prime Network Administration GUI、Vision GUI クライアント、または Events GUI クライアントを起動します。

クライアントのインストールが完了したら、Cisco Prime Network Administration を使用して Cisco Prime Network の導入を完了します。詳細については、『[Cisco Prime Network 4.3.2 Administrator Guide](#)』を参照してください。

クライアントのトラブルシューティング

次の表で、一般的なクライアントの問題をトラブルシューティングする方法、クライアントのメッセージに応答する方法を説明します。

問題/メッセージ	必要な処理
遅延の問題	デスクトップ上で実行されている他のすべてのアプリケーションを閉じます。
Citrix の問題	Prime Network クライアントへの SSL 接続を確立する際、またはキャッシュ フォルダを作成する際に問題が発生する可能性があります。その場合は、 Citrix で Prime Network クライアントを使用する場合 (2-13 ページ) の手順に従ってください。
メッセージ: An automatic upgrade of the Prime Network installer is required to connect to the specified server. The application will restart after the upgrade has completed.	サーバとクライアントで、異なるバージョンのランチャーを使用しています。自動アップグレードを続行してください。

問題/メッセージ	必要な処理
メッセージ: Client not compatible	<p>ゲートウェイと互換性がないクライアントを起動しようとしています。次のトピックで説明されている手順に従って、更新されたクライアントをインストールしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Web Start] ページからクライアントを起動する (8-2 ページ) • コンピュータに Prime Network クライアントをインストールする (8-4 ページ)
メッセージ: Another Prime Network client accessing a different server is open on your computer. This additional Prime Network client will open using the same installer version as the currently open Prime Network client.	<p>この問題は、実行中の他の Prime Network アプリケーションが別のゲートウェイに接続されている場合に発生します。たとえば、クライアントが <i>gateway1</i> に接続されているときに、<i>gateway2</i> に接続しようとした場合です。</p> <p>[OK] をクリックします。クライアントは <i>gateway2</i> に接続しますが、<i>gateway1</i> のクライアントランチャーが使用されることとなります。したがって、GUI がホストコードと一致しなくなる可能性があります。</p>
どのクライアントも開くことができない。	<p>Prime Network アプリケーションを開く際に問題が発生した場合は、Prime Network から Prime Network ゲートウェイにログインし、<i>NETWORKHOME/Main/Scripts</i> にあるスクリプト clientregpacker.sh を実行してアプリケーションファイルを再生成してください。</p>